

研修報告 D班2グループ

テーマ「日本人学生におけるグローバル人材の育成」

テーマ選定理由 大学の役割

大学の役割とは社会のニーズに合った人材を輩出することである。様々な活動が国際的になっている現代社会においては、世界に活躍の場を広げられる「グローバル人材」を育成する必要がある。ここでいうグローバル人材の育成では言語学習のレベルアップのみにこだわらず、他国の人とでも主体的にコミュニケーションをとる力や多様性を尊重・理解できる力を育てることに重きを置いている。そこで大学のすべきことは日本人学生の海外留学の促進ではないかと考えた。

問題点

① 派遣留学制度

- ・費用が高額となるため、経済的事情から諦めざるを得ない場合がある。
- ・日本人は内向き思考の人が多いため、留学への漠然とした恐怖があって踏み出せない。

② 外国留学生受入制度

- ・留学生と日本人学生との交流機会が不足している。

③ 語学教育

- ・座学中心の授業であるため、実際に話す機会が不足している。授業の質が低下している。
- ・自分の語学力の現状認識、語学学習の必要性に対する気づきが遅い、欠如している。

以上の点から、日本人学生は少なからず留学への抵抗感を持っていることが予想される。そこで、いきなり留学を促進させるのではなくまずは異文化交流に興味を持たせることが大切なのではないかと考えた。

解決策の検討

留学・語学にとらわれず、現状受け入れている留学生を活用し、留学生と日本人学生の交流機会を増やす。これにより異文化交流への恐怖心を減らし、興味を促す。交流を通じて自分の話す力や語学力の足りない部分に気づくことができ、また、グローバル人材になりたいという思いを早い段階から芽生えさせることができる。それは自発的・主体的な異文化交流・言語学習を促すことに繋がると考えられる。

異文化交流に興味を持つ機会や実際に外国語を話す機会の少ない日本人学生と日本人との接点がなく孤立している海外留学生を結びつける仕組みを次に提案する。

○ランゲージエクスチェンジによるマッチングシステム

共通した趣味・興味や学びたい言語などから大学側が学生同士をマッチングし、交流の

橋渡しをする。

○仲間作りのための大学 SNS サイト

共通した趣味などから成る仲間を作り、多くの学生・留学生と交流することができる。大学が管理する SNS サイトであるため、一般的な SNS サイトに比べて安心して利用できる。

○バディ制度

日本人学生と留学生をペアにして「異文化交流・共生」の促進をはかる。例えば一緒に役所に行って手続きのサポートを行うなど。

○学生寮、コミュニティースペース

留学生と日本人学生が生活を共にしたり、一緒に話をしたりできる場所をつくる。

まとめ・感想

日本人学生をグローバル人材に育てるためにはまず異文化交流の機会を増やす必要がある。ランゲージエクスチェンジや仲間作りなど交流の機会は経済的に留学を断念した人や留学へ踏み出せない人にとって気軽に参加できる異文化交流のチャンスだと思う。また、海外に興味のなかった人に対しては興味を持つきっかけにもなる。交流を通じて自分の語学力の現状を認識でき、言語学習の必要性に早い段階で気づくことができる。このように興味を持ってもらうことが、自発的な異文化交流への取り組みや言語学習を促すことに繋がると考える。異文化交流を機として、世界で活躍することのできるグローバル人材になりたいと思う日本人学生を育成し、後のキャリア形成を高めていってほしいと思う。

以上